



令和4年5月25日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部  
総務広報課長

### 文部科学省情報ひろばにて企画展示を実施します

#### 大学連携による地域資源を活かした地方創成 ～ さかなのまち門川町の豊かな海を見える化 ～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

宮崎大学は、令和4年5月27日（金）から令和4年7月12日（火）にかけて、文部科学省情報ひろば（旧文部省庁舎3階企画展示室）において、宮崎大学と門川町（宮崎県）との連携事業による各種成果物の企画展示を実施することとしましたのでお知らせします。（詳細は裏面）

宮崎大学では、2017年に宮崎県北部に位置する門川町と包括連携協定を締結し、同町にしかない魅力を学術的な視点から発見し、地域住民と協同で門川町の魅力を磨き上げるとともに、次世代にその魅力を引き継ぐ取組を行うことなどを目的とした連携事業を実施しています。

連携事業は多岐に及びますが、最も核心部分として取り組んできた事業である「さかなのまち門川町の豊かな海を見える化プロジェクト」では、事業開始から3年目の2019年に、地域で水揚げされた515種を掲載した「門川の魚図鑑」が完成。2021年には、沿岸（水深約0m～40m）でとれた魚種644種、陸棚（水深約20m～110m）でとれた魚種186種、深海（水深約200m～363m）でとれた魚種88種の合計815種が掲載された大図鑑「ひむかの海の魚たち」が5年の歳月を経て完成しました。

また、図鑑の制作過程で生じた基礎データを活用して、小中学生を対象にした「海辺の生き物ガイドブック」や「門川の魚かるた」、「門川のおさかなガイドブック」、門川の海をテーマにした絵本「夏休みの思い出」など、毎年新たな成果物を発行しており、それらは同町のふるさと納税の返礼品としても採用されています。

そのほかにも、幅広い連携事業により地域が活性化されていて、これらの取組は、「さかなのまち」として知られてきた門川町の魅力を発信することに大きく貢献するとともに、地域の若い世代への郷土愛をはぐくむ教育にも大きく貢献しており、大学と市町村連携のロールモデルとなっています。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載していただき、地域の皆様への周知にご協力いただければ幸いです。

敬 具

問合せ先：宮崎大学企画総務部総務広報課（後田・廣谷）

TEL：0985-58-7114

メール：kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

## 【参 考】

- 1 展示期間：令和4年5月27日（金）～ 令和4年7月12日（火）
- 2 開館時間：平日 10時～18時 ※入館は17時半まで
- 3 展示会場：「文部科学省 情報ひろば」旧庁舎3階 企画展示室 ※入場無料
- 4 展示内容：下記の実成果物およびパネル等を展示します。

「宮崎県のさかなのまち門川の魚図鑑」、「新・門川の魚図鑑：ひむかの海の魚たち」

「門川町周辺の海辺の生き物ガイドブック」

「門川おさかなガイドブック～さかなのまちの漁業と水辺～」

「門川の海の絵本 ～夏休みの思い出～」、「門川の魚かるた」 ほか

### ▼ 展示の様子

